〔活動交付金〕

様式第２３号（第５条関係）

令和 8 年 3 月 31 日

笠岡市長　殿

所　在　地　笠岡市飛島５９２３番地１
協議会名　飛島自治振興会
協議会長名　会長　山本吉太郎

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 7 年 5 月 20 日付け笠岡市指令まち第 83 号で交付決定を受けた交付金について，次のとおり交付額の変更を申請します。併せて，次のとおり活動が完了したので，笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第５条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

１　変更交付申請額　　1,742,430　円
（交付金決算額）

〔内訳〕　（単位：円）

交付決定額　①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額　④
	当該年度支出額　②	次年度繰越額　③	
1,750,000	1,742,430		7,570

２　交付金が減額変更になった理由

ごんせい飛島観光事業および鳥獣害対策事業において、一部認められない支出が判明したため

【添付書類】
（１）笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第２４号）
（２）笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
（様式第２５号又は様式第２５号の１）
（３）支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
（４）事業の実施状況がわかる写真及び成果品
（５）その他参考となる書類

様式第２４号（第５条関係）

〔活動交付金〕

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名　飛島自治振興会

活動Ｎｏ	1
活 動 名	島内交通
前年からの繰越金	○あり　◉なし

1　目的，活動実施により期待される効果

【目的】	公共交通機関のない飛島において、島民の移動手段を確保することは生活上最も重要な役割である。島内の移動や荷物の運搬などは、島民に限らず帰省者にも必要とされている。安全・安心が確保された島内交通事業により、島民が安心して暮らせる地域づくりに貢献することを目的とする。
【効果】	島民の交通手段となることで、買い物や通院などに安心して通うことができる。 また、島民の生活状況や健康等の情報、居住確認にも繋がるなどの状況把握にも効果がある。

2　実施期間

令和　7　年　4　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日

（計画期間　　年中　　年目）

3　実施場所

飛島島内道路

4　活動に関わった人数・団体

○総人数：　7　人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数：　3　人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）：　4　人（イ）

○団　体：　（団体名）飛島自治振興会，（団体名）集落支援員

（団体名）一社）飛島学園，（団体名）

5　実施内容

１日６回の定期船の寄港に合わせて、島民の搬送、荷物の運搬にあたる。
担当者は、定期船の寄港のたびに、前後３０分程度島内交通業務に従事する。
また、島内の行事や会議等でも送迎を行うことがある。

6　決算額

1,198,000 円（うち交付金分　1,170,000 円）

7　活動実施による成果及び課題

【成果】	年間365日、1日6回の定期線寄港にともなう島民の送迎や荷物の運搬を問題なく実施できた。島内交通事業が円滑にできるように、集落支援員と担当者との調整を行えた。
【課題】	定期船の寄港のみならず、島内の移動手段としてのニーズがある。拘束時間があるために外出できないなど、担当者の負担が大きい。また、予算内で事業を運営するための工夫と担当者の確保が課題である。 担当する人材の高齢化により担い手が不足している。

様式第２５号（第５条関係）

〔活動交付金〕

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名　飛島自治振興会

活動Ｎｏ	1
活 動 名	島内交通

【収入の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
市交付金	① 1,170,000	1,170,000	0	当該年度分
その他収入	0	28,000	△ 28,000	
自治振興会		28,000	△ 28,000	
			0	
			0	
計	1,170,000	1,198,000	△ 28,000	

【支出の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
報償費	1,126,000	1,198,000	△ 72,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	44,000	0	44,000	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	1,170,000	1,198,000	△ 28,000	決算額のうち市交付金分 ② 1,170,000

市交付金の余剰金　①－②　0　円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③　0　円　　返還額 ④　0　円

※　収入及び支出の区分欄は，適宜変更して使用すること。

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　島内交通

費目　　報償費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	4	30	スタッフ		26,000	26,000
2	7	4	30	スタッフ		22,000	48,000
3	7	4	30	（一社）飛島学園		42,000	90,000
4	7	5	31	スタッフ		27,000	117,000
5	7	5	31	スタッフ		23,000	140,000
6	7	5	31	（一社）飛島学園		43,000	183,000
7	7	6	30	スタッフ		25,000	208,000
8	7	6	30	スタッフ		22,000	230,000
9	7	6	30	（一社）飛島学園		43,000	273,000
10	7	7	31	スタッフ		27,000	300,000
11	7	7	31	スタッフ		23,000	323,000
12	7	7	31	（一社）飛島学園		43,000	366,000
13	7	8	31	スタッフ		32,000	398,000
14	7	8	31	スタッフ		31,000	429,000
15	7	8	31	（一社）飛島学園		30,000	459,000
16	7	8	31	スタッフ	加算（繁忙期）	15,500	474,500
17	7	9	30	スタッフ		19,000	493,500
18	7	9	30	スタッフ		22,000	515,500
19	7	9	30	（一社）飛島学園		49,000	564,500
20	7	10	31	スタッフ		27,000	591,500
21	7	10	31	スタッフ		23,000	614,500
22	7	10	31	（一社）飛島学園		43,000	657,500
23	7	11	30	スタッフ		25,000	682,500
24	7	11	30	スタッフ		22,000	704,500
25	7	11	30	（一社）飛島学園		43,000	747,500
26	7	12	28	スタッフ		34,000	781,500
27	7	12	28	スタッフ		20,000	801,500
28	7	12	28	（一社）飛島学園		39,000	840,500
29	7	12	28	スタッフ	加算（繁忙期）	15,500	856,000
30	8	1	31	スタッフ		34,000	890,000
31	8	1	31	スタッフ		24,000	914,000
32	8	1	31	（一社）飛島学園		35,000	949,000
33	8	2	28	スタッフ		24,000	973,000
34	8	2	28	スタッフ		24,000	997,000
35	8	2	28	（一社）飛島学園		36,000	1,033,000
36	8	3	31	スタッフ		26,000	1,059,000
37	8	3	31	スタッフ		27,000	1,086,000
38	8	3	31	（一社）飛島学園		40,000	1,126,000
39							
40							
					No.1　小　計	1,126,000	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　島内交通

費目　　報償費

No.　　2

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
41	7	4	30	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,132,000
42		5	31	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,138,000
43	7	6	30	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,144,000
44	7	7	31	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,150,000
45	7	8	31	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,156,000
46	7	9	30	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,162,000
47	7	10	31	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,168,000
48	7	11	30	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,174,000
49	7	12	31	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,180,000
50	7	1	31	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,186,000
51	7	2	28	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,192,000
52	7	3	31	スタッフ	島内交通（福島医院送迎）	6,000	1,198,000
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
					No.2　小　計	72,000	

〔活動交付金〕

自己評価シート

（令和　7　年度）　　No. 1

協議会名	飛島自治振興会
活動名	島内交通

活動目的	公共交通機関のない飛島において、島民の移動手段を確保することは生活上最も重要な役割である。島内の移動や荷物の運搬などは、島民に限らず帰省者にも必要とされている。安全・安心が確保された島内交通事業により、島民が安心して暮らせる地域づくりに貢献することを目的とする。
実施内容	１日６回の定期船の寄港に合わせて、島民の搬送、荷物の運搬にあたる。 担当者は、定期船の寄港のたびに、前後３０分程度島内交通業務に従事する。 また、島内の行事や会議等でも送迎を行うことがある。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的･効果を地域のみんなで共有することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的･効果･内容などを地域住民に周知･共有できたか。 （活動の経費･理由･内容など）	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 （広報手段･日程調整など）	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 （男女共同参画の推進，地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど）	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について
4:よくできた　3:まあまあできた　2:あまりできなかった　1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
年間365日、1日6回の定期線寄港にともなう島民の送迎や荷物の運搬を問題なく実施できた。島内交通事業が円滑にできるように、集落支援員と担当者との調整を行えた。	定期船の寄港のみならず、島内の移動手段としてのニーズがある。拘束時間があるために外出できないなど、担当者の負担が大きい。また、予算内で事業を運営するための工夫と担当者の確保が課題である。 担当する人材の高齢化により担い手が不足している。

今後の活動の方向性･改善策

担当者の高齢化により、事業の継続が難しくなった場合に、一般社団法人飛島学園として事業を支援していく準備が必要である。

〔活動交付金〕

様式第２４号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名　飛島自治振興会

活動Ｎｏ	2
活 動 名	デイサービス
前年からの繰越金	○あり　◉なし

1　目的，活動実施により期待される効果

【目的】	高齢者の定期的な集いの場を提供し、ひきこもりの防止を行うとともに、身体機能の維持・向上を目的としたリハビリを行う。
【効果】	高齢者のひきこもりを防止し、身体機能の維持・向上等の介護予防の促進を図り、健康を維持することが期待できる。

2　実施期間

令和　7　年　4　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日

（計画期間　　年中　　年目）

3　実施場所

旧飛島幼稚園

4　活動に関わった人数・団体

○総人数：　17　人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数：　7　人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）：　10　人（イ）

○団　体：　（団体名）　飛島自治振興会　，　（団体名）　飛島婦人会

（団体名）　集落支援員　，　（団体名）

5　実施内容

毎週水曜日の午前中に集まり（車による送迎）バイタルチェックや身体機能の維持・向上を目的としたリハビリ運動を行い、島民同士の交流を促進するサロンを開催する。

6　決算額

300,000 円（うち交付金分　300,000 円）

7　活動実施による成果及び課題

【成果】	毎週水曜日にデーサービスを開催することが出来た。島民への連絡等、スムーズに運営することが出来た。
【課題】	島民の高齢化による参加者の減少、担当者の高齢化による負担増が懸念される。

〔活動交付金〕

様式第２５号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名　飛島自治振興会

活動Ｎｏ	2
活 動 名	デイサービス

【収入の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
市交付金	① 300,000	300,000	0	当該年度分
その他収入	20,000	0	20,000	
自主財源	20,000		20,000	
			0	
			0	
計	320,000	300,000	20,000	

【支出の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
報償費	320,000	300,000	20,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	320,000	300,000	20,000	決算額のうち市交付金分 ② 300,000

市交付金の余剰金　①－②　0　円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③　0　円　　返還額 ④　0　円

※　収入及び支出の区分欄は，適宜変更して使用すること。

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　デイサービス

費目　　報償費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	10	14	スタッフ		24,000	24,000
2	7	10	14	スタッフ		24,000	48,000
3	7	10	14	スタッフ		26,000	74,000
4	7	10	14	スタッフ		48,000	122,000
5	7	10	14	スタッフ		40,000	162,000
6	7	10	14	スタッフ		6,000	168,000
7	8	3	25	スタッフ		20,000	188,000
8	8	3	25	スタッフ		18,000	206,000
9	8	3	25	スタッフ		12,000	218,000
10	8	3	25	スタッフ		38,000	256,000
11	8	3	25	スタッフ		38,000	294,000
12	8	3	25	スタッフ		6,000	300,000
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	300,000	

〔活動交付金〕

自己評価シート

（令和　7　年度）　　No. 2

協議会名	飛島自治振興会
活動名	デイサービス

活動目的	高齢者の定期的な集いの場を提供し、ひきこもりの防止を行うとともに、身体機能の維持・向上を目的としたリハビリを行う。
実施内容	毎週水曜日の午前中に集まり（車による送迎）バイタルチェックや身体機能の維持・向上を目的としたリハビリ運動を行い、島民同士の交流を促進するサロンを開催する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 （活動の経費・理由・内容など）	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 （広報手段・日程調整など）	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 （男女共同参画の推進，地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど）	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた　3:まあまあできた　2:あまりできなかった　1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
毎週水曜日にデーサービスを開催することが出来た。島民への連絡等、スムーズに運営することが出来た。	島民の高齢化による参加者の減少、担当者の高齢化による負担増が懸念される。

今後の活動の方向性・改善策

高齢化により参加者が減少しているが、島民にとって大事な交流の場となっているため、現状の体制を維持することが重要である。

〔活動交付金〕

様式第２４号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名　飛島自治振興会

活動Ｎｏ	3
活 動 名	ごんせい飛島観光事業
前年からの繰越金	○あり　◉なし

1　目的，活動実施により期待される効果

【目的】	飛島には約600本のやぶ椿が自生していると言われており、その椿にかかわる島の文化や景観、椿関連商品が笠岡ブランドとして認定されている。椿や島内の景観を整備を推進することで、飛島を訪れるリピーターを増やすことを目的とする。
【効果】	椿や島内の景観を整備を推進することで、飛島を訪れるリピーターを増やし、持続可能な島民との交流や関係を深めることが期待できる。また、伝統的な椿事業を守り続けることに繋がる。

2　実施期間

令和　7　年　4　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日

（計画期間　　年中　　年目）

3　実施場所

飛島全域、飛島つばき研究所、まちづくり協議会事務所

4　活動に関わった人数・団体

○総人数：　20　人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数：　3　人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）：　17　人（イ）

○団　体：　（団体名）　飛島自治振興会　，　（団体名）　一社）飛島学園

（団体名）　集落支援員　，　（団体名）

5　実施内容

椿油の生産・販売
島内の環境整備

6　決算額

144,286 円（うち交付金分　144,286 円）

7　活動実施による成果及び課題

【成果】	椿油の製油、製品化等の管理および納品等の業務を行うことが出来た。
【課題】	島民の高齢化により椿の収穫量が減少している。 製品化等の実務担当者の高齢化により後継者が不足している。

〔活動交付金〕

様式第２５号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名　飛島自治振興会

活動Ｎｏ	3
活 動 名	ごんせい飛島観光事業

【収入の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
市交付金	① 150,000	150,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
自治振興会			0	
			0	
			0	
計	150,000	150,000	0	

【支出の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
報償費	60,000	63,000	△ 3,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		8,160	△ 8,160	〃
需用費	90,000	73,126	16,874	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	150,000	144,286	5,714	決算額のうち市交付金分 ② 144,286

市交付金の余剰金　①－②　5,714　円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③　0　円　　返還額 ④　5,714　円

※　収入及び支出の区分欄は，適宜変更して使用すること。

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　ごんせい飛島観光事業

費目　　**報償費**

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	3,000
2	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	6,000
3	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	9,000
4	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	12,000
5	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	15,000
6	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	18,000
7	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	21,000
8	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	24,000
9	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	27,000
10	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	30,000
11	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	33,000
12	7	8	4	スタッフ	草刈り	3,000	36,000
13	7	9	16	スタッフ	椿公園草刈り	3,000	39,000
14	7	9	16	スタッフ	椿公園草刈り	3,000	42,000
15	7	9	16	スタッフ	椿公園草刈り	3,000	45,000
16	7	9	16	スタッフ	椿公園草刈り	3,000	48,000
17	7	9	16	スタッフ	椿公園草刈り	3,000	51,000
18	7	9	16	スタッフ	椿公園草刈り	3,000	54,000
19	7	9	16	スタッフ	椿公園草刈り	3,000	57,000
20	7	9	16	スタッフ	椿公園草刈り	3,000	60,000
21	7	9	16	スタッフ	椿公園草刈り	3,000	63,000
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	63,000	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　ごんせい飛島観光事業

費目　　旅費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	11	19	三洋汽船	定期船代	2,040	2,040
2	7	11	28	三洋汽船	定期船代	2,040	4,080
3	8	3	5	三洋汽船	定期船代	4,080	8,160
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	8,160	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　ごんせい飛島観光事業

費目　　需用費　　消耗品費

No.　　1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	10	8	コーナン	タオル・ダストマン等（椿油用）	3,669	3,669
2	7	11	15	コーナン	ダストマン（椿油用）	2,903	6,572
3	7	11	15	ユーホー	チェンソー替刃等（環境整備用）	5,131	11,703
4	7	12	8	コーナン	ダストマン（椿油用）	2,903	14,606
5	8	1	14	無印良品	ボトル代	5,690	20,296
6	8	1	26	コーナン	ステンレスザル	4,095	24,391
7	8	2	4	無印良品	ボトル代	5,240	29,631
8	8	3	2	無印良品	ボトル代	7,110	36,741
9	8	3	5	FoodBasket	花代(椿祭り)	7,249	43,990
10	8	3	5	ホリディ	椿祭り消耗品	9,026	53,016
11	8	3	7	無印良品	ボトル代	3,110	56,126
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	56,126	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　ごんせい飛島観光事業

費目　　需用費　　燃料費

No.　　1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	8	2	13	金庄丸	灯油	3,000	3,000
2	8	3	6	金庄丸	ガスボンベ（椿祭り）	14,000	17,000
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	17,000	

〔活動交付金〕

自己評価シート

（令和　7　年度）　　No. 3

協議会名	飛島自治振興会
活動名	ごんせい飛島観光事業

活動目的	飛島には約600本のやぶ椿が自生していると言われており、その椿にかかわる島の文化や景観、椿関連商品が笠岡ブランドとして認定されている。椿や島内の景観を整備を推進することで、飛島を訪れるリピーターを増やすことを目的とする。
実施内容	椿油の生産・販売 島内の環境整備

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的･効果を地域のみんなで共有することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的･効果･内容などを地域住民に周知･共有できたか。 （活動の経費･理由･内容など）	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 （広報手段･日程調整など）	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 （男女共同参画の推進，地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど）	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた　3:まあまあできた　2:あまりできなかった　1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
椿油の製油、製品化等の管理および納品等の業務を行うことが出来た。	島民の高齢化により椿の収穫量が減少している。 製品化等の実務担当者の高齢化により後継者が不足している。

今後の活動の方向性･改善策

飛島の伝統文化である椿を守り続けていくために後継者の育成が急務である。担当者の高齢化により、事業の継続が難しくなった場合に、一般社団法人飛島学園として事業を継続していく準備が必要である。

〔活動交付金〕

様式第２４号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名　飛島自治振興会

活動Ｎｏ	4
活 動 名	鳥獣害対策
前年からの繰越金	○あり　◉なし

1　目的，活動実施により期待される効果

【目的】	イノシシ被害を抑えるため、地域組織立ち上げの為の準備を進める。
【効果】	猟友会の指導のもと、地域組織のスキルを向上させる。

2　実施期間

令和　7　年　4　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日

（計画期間　　年中　　年目）

3　実施場所

飛島島内

4　活動に関わった人数・団体

○総人数：　14　人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数：　2　人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）：　12　人（イ）

○団　体：　（団体名）　飛島自治振興会　，　（団体名）　一社）飛島学園

（団体名）　集落支援員　，　（団体名）

5　実施内容

定期的に猟友会の指導のもと、地域組織の立ち上げ準備と島民のスキル向上を目的とした講習をおこなう。

6　決算額

128,144 円（うち交付金分　128,144 円）

7　活動実施による成果及び課題

【成果】	１名が狩猟免許を取得できた。狩猟に必要な器具を購入することができた。
【課題】	狩猟免許取得者が１名となり地域組織の立ち上げが危ぶまれたが、狩猟免許保持者が島民となることで条件をクリアすることができた。

〔活動交付金〕

様式第２５号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名　飛島自治振興会

活動Ｎｏ	4
活 動 名	鳥獣害対策

【収入の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
市交付金	① 130,000	130,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
自治振興会			0	
			0	
			0	
計	130,000	130,000	0	

【支出の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
報償費	90,000	50,000	40,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費	20,000	0	20,000	〃
需用費	20,000	78,144	△ 58,144	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	130,000	128,144	1,856	決算額のうち市交付金分 ② 128,144

市交付金の余剰金　①－②　1,856　円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③　0　円　　返還額 ④　1,856　円

※　収入及び支出の区分欄は，適宜変更して使用すること。

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　鳥獣害対策

費目　　報償費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	8	3	25	青年団	イノシシ崩落復旧作業（750円×5h×8人）	30,000	30,000
2	8	3	30	スタッフ	見回り（200円×100日）	20,000	50,000
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	50,000	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　鳥獣害対策

費目　　需用費　　消耗品費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	11	28	RedHat株式会社	くくり罠10個	30,240	30,240
2	8	1	15	太田製作所	刺し止め機	34,000	64,240
3	8	3	9	ホリディ	仕留め槍	13,904	78,144
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	78,144	

〔活動交付金〕

自己評価シート

（令和　7　年度）　　No. 4

協議会名	飛島自治振興会
活動名	鳥獣害対策

活動目的	イノシシ被害を抑えるため、地域組織立ち上げの為の準備を進める。
実施内容	定期的に猟友会の指導のもと、地域組織の立ち上げ準備と島民のスキル向上を目的とした講習をおこなう。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 （活動の経費・理由・内容など）	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 （広報手段・日程調整など）	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 （男女共同参画の推進，地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど）	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4：よくできた　3：まあまあできた　2：あまりできなかった　1：全くできなかった

活動の成果	現状と課題
１名が狩猟免許を取得できた。狩猟に必要な器具を購入することができた。	狩猟免許取得者が１名となり地域組織の立ち上げが危ぶまれたが、狩猟免許保持者が島民となることで条件をクリアすることができた。

今後の活動の方向性・改善策

令和8年度から地域組織を立ち上げ、イノシシ駆除を実施していく。事故を起こさないように最大限の注意を払いながら安全な体制を構築することが必要である。